

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK

2

BOOKは図書館のワクワクを皆さんにお伝えるメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2012年6月20日発行／隔月刊
発行＆編集＝山形村図書館

図書館で遊ぶ!?



子ども達は遊びの天才。
教えてあげよう、
どんな世界にも、時代にも、
行く事が出来ることを。
本の中で遊ぶ事が出来る事を……。
そこは縦横無尽の想像の世界。

ピアやまがたからおいでの上さ
ん。

「いいなあ。私はここに住みたいよ。」

「私もこういう仕事につきたかたなあ。好きなだけ本読んでいられるじゃんねえ」

(いえ……あの……ここで本読むのが仕事では……)

車椅子で、介護士さんとおいでになるので、頻繁にはこられませんが、一応ひとり5冊の規定はありますが、お好きなだけ借りていただいています。お家の方に作ってもらったという花柄の図書袋に入れて、毎回10冊以上かかえてお帰りになります。

二人暮らしだからカード1枚

しか作れないんだよね」

福祉バスでおいでになるKさんも

「はいどうぞ、お好きなだけ」

仲間です。

冬季限定利用はAさん、Kさん、Hさん。

木枯らしが吹く頃になるとお見えになります。毎回ゴタツの友“数冊をかかえていけません。立春が過ぎ、ぽかぽか陽気が何日か続くと、「ときにお休みだわい」といつて返却のみ。農家の春は早いですね。

山形村のおはなしの会はちよと変わっています。

毎月第1、第3木曜日、10

秋過ぎると、新しくなった学習スペースが埋まり始めます。受験シーズンの到来です。真

時半からやつているおはなしの会

こぐまは、絵本や手遊びを楽しんだ後、12時までは図書館がサロンに早代わり。

子どもたちがお絵かきしたり、ままごとしたり、かけっこしたり(コラ……)するのを横目に、母

たちは情報交換やお悩み相談で盛り上がりついでいます。

図書館は静かなところという認識を、派手にくつがえして、

すが、月2回1時間ほどなので、一般利用のみなさんが温かく見逃してください。

土

こつつん こつつん

打たれる土は

よい島になって

よい麦生むよ。

朝から晩まで

踏まれる土は

よい路になって

車を通すよ。

打たれぬ土は

踏まれぬ土は

要らない土か。

いえないそれは

名のない草の

お宿をするよ。

心に残る詩

平沢典義選

震えるほどに共感出来る詩との出会いは、きっとあなたを幸せにしてくれる。そんな詩を求めて……。

第1回は、金子みすゞさんです。

金子さんの詩には生命への思いやりとやさしさを感じます。

土

こつつん こつつん

打たれる土は

よい島になって

よい麦生むよ。

朝から晩まで

踏まれる土は

よい路になって

車を通すよ。

打たれぬ土は

踏まれぬ土は

要らない土か。

いえないそれは

名のない草の

お宿をするよ。

剣なまなどしの

中高生に圧倒

されるのか、こ

の時期は宿題を

する小学生まで

表情が引き締

まっています。

児童コーナーか

らはなれているので、静かで集中

できると好評です。

資格試験を目指す大人の方

が参考書を枕にZZZZZZZZZZの姿

も。

お弁当持参で頑張る子どもた

ちや、ほっと息つきたい大人たち

のために、喫茶コーナーがあつた

らいいなあ……（願望）

図書館には『このゆびとくま

れ』という手書きのツイッターノ

トがあります。小学生女子を中

心に色ペンでカラフルにつぶやいてく

れています。

今子どもたちの一番人気は



「都会のト

ム&ソーヤ」*シ

リーズ、新刊情報は司書より早

い!

「図書館に音楽流したら?」

なんて提案もしてくれます。

中には本は好きじゃないだけ

ど……という子も。でも「図書

館大好き!!!」つて書いてくれ

てるのがうれしい。

「わー、『のみのびこ』ある。

小学生のとき覚えるの必死だっ

た」

「『のはらうた』*知ってる。中

学の図書館にあったー! なつかし

い! 『いいねー。図書館いいねー、

やっぱ!」

子どもころ好きだった本。

読み返したくても本屋さんでは

絶版でもう手に入らない。そう

いう本でも図書館だったら見つか

ります。

村の図書館になくても、図書

館には「相互貸借」という強力

なネットワークがあつて、図書館

同士で本の貸し借りをしていま

す。

あなたのお探しの本は何です

か? 気軽に声をかけてください。

村の図書館はこんな風にな

さんに利用され親しまれていま

す。

*「都会のトム&ソーヤ①②⑩」

はやみねかおる

*「のみのびこ」 谷川俊太郎

*「のはらうた」くどうなおこ

My Favorite Book★Hiroo WADA



無信
フランチス・フクヤマ
〇〇不信の多いこの世の中から「不」を取り除きたい所です。
信を経て楽に至ればはハッピー。

2016年★和川人生
図書館ボランティア会



絵本づくりを楽しもう!
私家版絵本「だじやれをいつたのはだれじや」/百瀬ほか作 より

4. 5月の貸出ベスト10

- 1位. ナミヤ雑貨店の奇蹟 / 東野圭吾
- 2位. 百姓貴族 / 荒川弘
- 3位. 仙台ぐらし / 伊坂幸太郎
- 4位. きなりの雲 / 石田千
- 5位. ゴースト・ハント / 小野不由美
- 6位. 雑草を活かす! 手間なしぐうたら農法 / 西村和雄
- 7位. おじさん図鑑 / なかむらるみ
- 8位. 贖罪の奏鳴曲 (ソナタ) / 中山七里
- 9位. 大往生しけりや医療とかかわるな / 中村仁一
- 10位. ビブリア古書堂の事件手帖 / 三上延

イシカワの図書館日記

この四月から、図書館で働くことになりました石川弘美です。子どものころジャンケンに負け続けてなれなかった図書委員になる夢がかなったようで嬉しいです。よろしくお祈りします。

世界では、子どもの歯が抜けると、歯の妖精が抜けた歯と交換にコインをおいていくという習慣もあるそうです。絵本でその話を読んで以来、我が家にも何年にもわたって歯の妖精が現れました。あるとき「歯の妖精なんて変だって言われたあ。」と息子が不満そうに帰ってきました。アラアラ、クヤシカツタカナ?

目に見えないふしぎな存在を信じてワクワクする時期は、人生の中でもほんの短い豊かな時間。身近な大人として、大切にあげたいなあと思います。子どもと一緒にふしぎを楽しむのもひそかな喜びだから。

おねえさん、おすすめ新着本

あなたのために
いのちを支えるスープ 辰巳芳子
一杯のスープに心も体もほどけたことはありませんか? 哲学さえ感じられる力強いスープのレシピ集です。



ふしぎな輪 くすみまざゆき



授業中、ノートに片隅に書き続けたパラパラマンガの楽しみ、大人になっても健在です。図書館で、パラパラめくって遊んでね。

はがぬけたらどうするの? セルビー・ピラー



乳歯がぬけたとき、そのぬけた歯をどうしているか、世界の子どもたちに聞きました。なんとあの動物が大活躍らしい!

なつかしいひと 平松洋子



実際の料理の名手は、文章においても名手であった。おいしい料理を一口ひとくち惜しむように、じっくり味わいたいエッセイ集です。

フクロウ 宮崎学



伊那谷・中川村で21年前に撮影された、土門拳賞を受けた写真集です。野生のフクロウの力強さ、息をのみま

雪と珊瑚と 梨木香歩



赤ん坊の雪を抱えて、ひとり奮闘する珊瑚の周りには、命をつなぐ食べ物を通して、温かい人の輪が広がっています。

編集後記 ●最近「すごい本屋」(井原万見子著朝日新聞出版)という本と出会った。ある新聞に載ったろう覚えの書評を百瀬司書に伝えたくて、これではまっか?と出してくれたのがこの本です。和歌山県の山の中、小さな村の小さな本屋さんで書かれた本。本屋という商売の中で、子供に対し、本の親しいつきあい方、本は楽しいもの、本は知識を得られるもの等々を如何に伝えるか、図書館が抱える課題でもある事について、いろいろ工夫されたことが書かれていました。この本を読んで、本屋さん図書館も根本的には同じなんだと感じ、図書館の原点を見たように思いました。(秘記)

STAFF ●編集長・村井稔 ●編集委員
●図書館ボランティア会 村井稔 / 石川弘美 / 平沢典義 / 和田大生 / 安田美和 / 古屋加代子 / 市瀬徹 / 百瀬景子 / 沖津弘門 / 須永恵次 / 保坂彦
●原稿: 百瀬恵津子 / 石川弘美
●編集デザイン: 保坂彦デザイン室